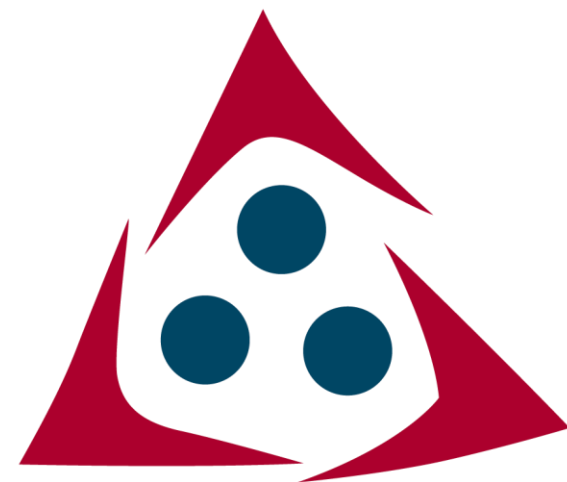


2025年12月期 第4四半期及び通期 決算説明資料

2026年2月13日 株式会社ラキール
(東証グロース：4074)



LaKeel

1. 通期決算ハイライト
2. 業績推移と連結決算の概況
3. 2026年12月期業績予想
4. 事業の特色と成長戦略
5. Appendix

1. 通期決算ハイライト

通期決算ハイライト

減収減益で着地

連結業績	プロダクトサービス 売上	プロフェッショナルサービス 売上
(前年同期比：通期) 減収／減益	(前年同期比：通期) 3.8%増 (1.74億円増)	(前年同期比：通期) 12.4%減 (4.14億円減)
営業利益	経常利益	純利益
(前年同期比：通期) 20.5%減 (1.15億円減)	(前年同期比：通期) 18.5%減 (1.01億円減)	(前年同期比：通期) 20.6%減 (0.75億円減)

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載（以下、本資料にて同じ）

通期決算ハイライト（プロダクト）

LaKeel製品のサブスク売上は堅調に推移

プロダクトサービス売上比率

(前年同期比：通期)

58.2% ⇒ 62.2%

サブスク※1ユーザー数

(前年同期比：期末)

7.2%増

(25ユーザー増)

345ユーザー ⇒ 370ユーザー

サブスク※1売上

(前年同期比：通期)

21.5%増

(2.54億円増)

11.83億円 ⇒ 14.37億円



MRR(月間経常収益)※2

(前年同期比：10-12月)

22.6%増

(0.23億円増)

1.04億円 ⇒ 1.27億円

ARPU(ユーザー平均単価)※3

(前年同期比：10-12月)

14.3%増

(4.3万円増)

30.1万円 ⇒ 34.4万円

※1 LaKeel製品を対象としたサブスク

※2 MRR(月間経常収益)は四半期のサブスク売上を3で除して算出 ※3 ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出

2. 業績推移と連結決算の概況

業績予想の達成状況

業績予想を若干下回って着地



※ 上表における通期業績予想は2025/12/24発表の修正通期連結業績予想の数値

四半期業績推移

上期好調も下期は営業不調により業績が減速

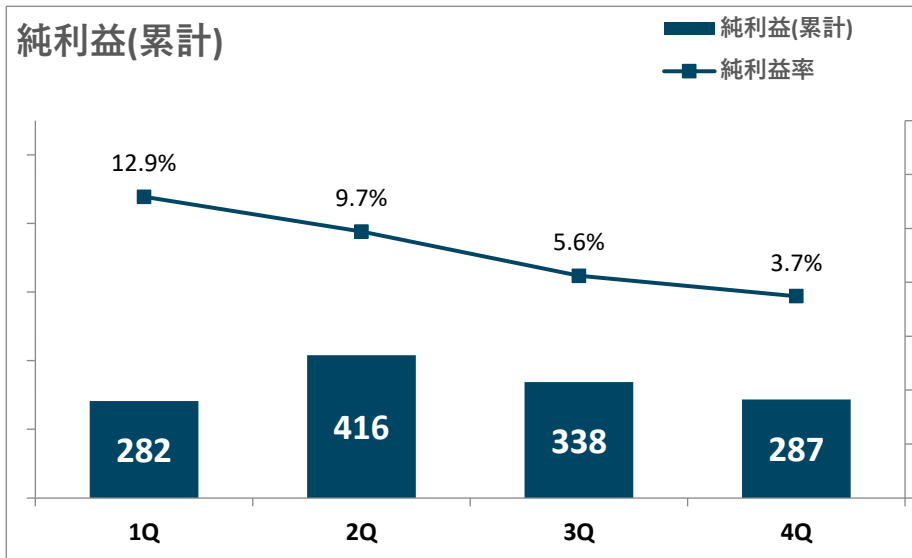
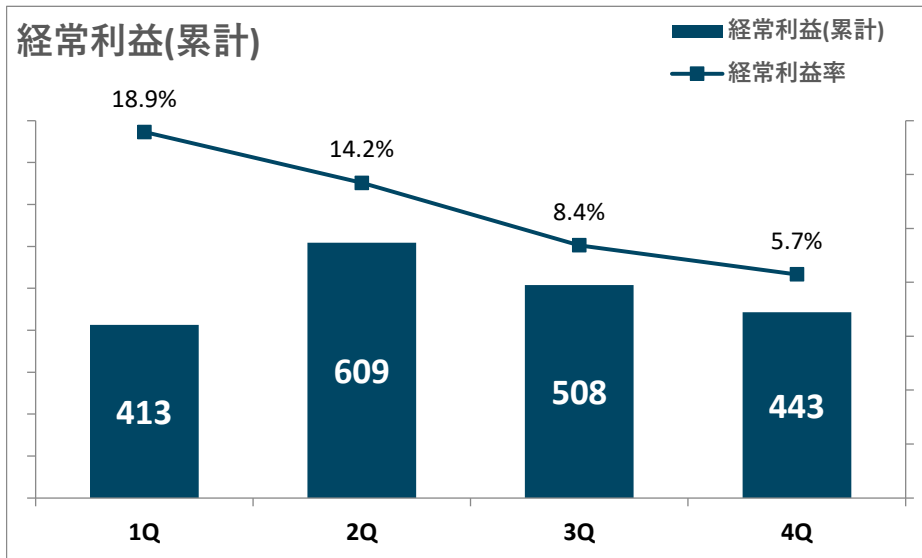
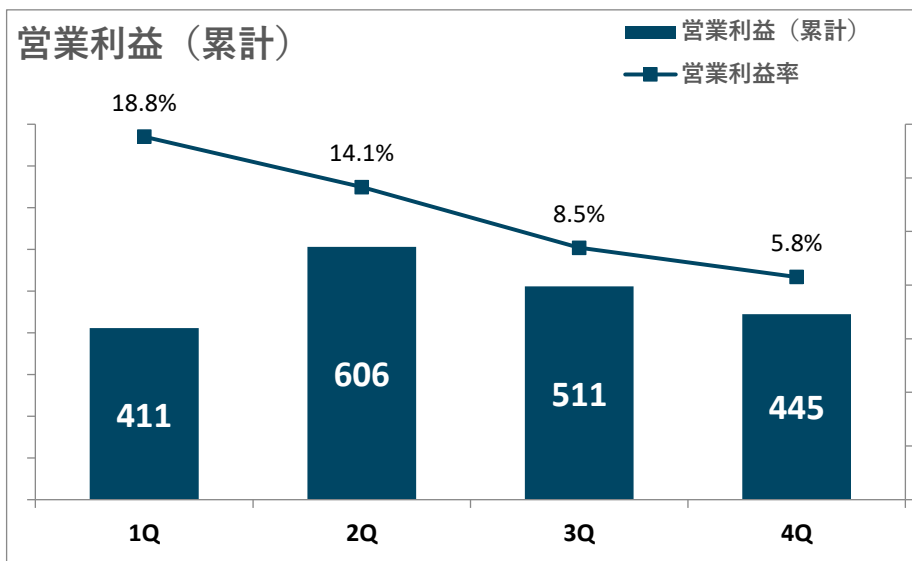
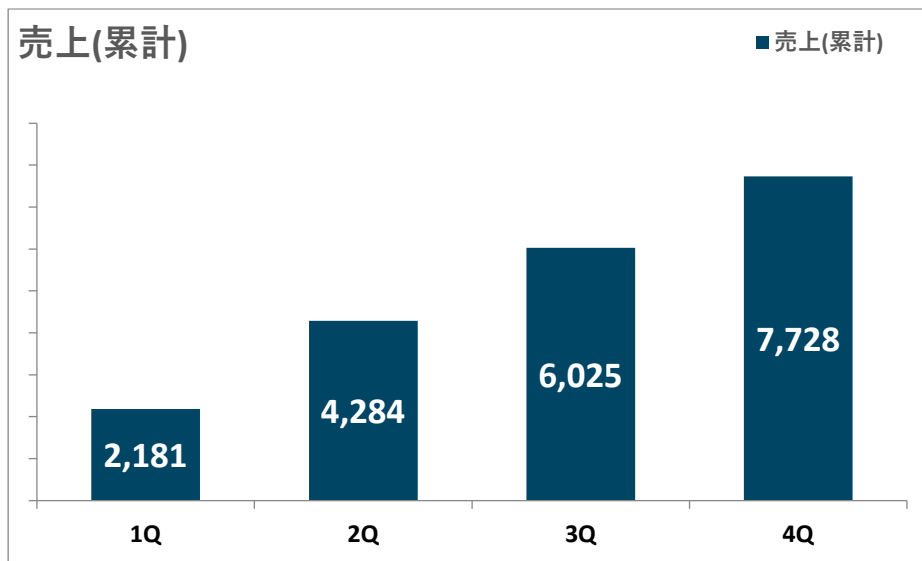
(単位：百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期累計
売上高	2,181	2,103	1,740	1,702	7,728
売上総利益	871 (39.9%)	800 (38.1%)	502 (28.9%)	412 (24.2%)	2,587 (33.5%)
販管費	459 (21.1%)	605 (28.8%)	598 (34.4%)	478 (28.1%)	2,141 (27.7%)
営業利益	411 (18.9%)	194 (9.3%)	△95 (△5.5%)	△ 65 (△ 3.9%)	445 (5.8%)
EBITDA	535 (24.5%)	322 (15.3%)	35 (2.0%)	64 (3.8%)	956 (12.4%)
経常利益	413 (18.9%)	196 (9.3%)	△100 (△5.8%)	△ 65 (△ 3.8%)	443 (5.7%)
純利益	282 (13.0%)	134 (6.4%)	△78 (△4.5%)	△ 50 (△ 3.0%)	287 (3.7%)

四半期推移に関するコメント

- 上期はLaKeel HRの販売が好調に推移したが、下期は見込んでいたライセンスが受注できず、コンサル案件の受注も低調となり、売上・利益ともに減少した。
- 販管費について、例年通り2Qでは新入社員（新卒）と研修で人件費や教育費が増加した。（新入社員は研修後、3Q途中から直接部門へ配属される）
- 本年度特有事項として、3Qに周年イベント（ユーザー会の発足など）で費用（約1億円）を計上

四半期業績推移（累計）

(単位：百万円)



第4四半期及び通期の決算概況 (P/L)

減収減益で着地

(単位：百万円)	FY2024 4 Q	FY2025 4 Q	増減率	FY2024 通期	FY2025 通期	増減率
売上	1,864	1,702	△8.7%	7,968	7,728	△3.0%
売上総利益	512 (27.5%)	412 (24.2%)	△19.4%	2,438 (30.6%)	2,587 (33.5%)	+6.1%
販管費	472 (25.3%)	478 (28.1%)	+1.2%	1,878 (23.6%)	2,141 (27.7%)	+14.0%
営業利益	39 (2.1%)	△ 65 (△3.9%)	-	560 (7.0%)	445 (5.8%)	△20.5%
EBITDA	169 (9.1%)	64 (3.8%)	△62.0%	1,034 (13.0%)	956 (12.4%)	△7.5%
経常利益	34 (1.8%)	△ 65 (△3.8%)	-	543 (6.8%)	443 (5.7%)	△18.5%
純利益	16 (0.9%)	△ 50 (△3.0%)	-	362 (4.5%)	287 (3.7%)	△20.6%

売上・売上総利益

- 4 Qはライセンス及びコンサルティングサービスの売上は低調となった。下期の営業不調が響き通期でも減収減益で着地した。
- 売上総利益は、上期は好調なライセンス販売により高利益となったが、下期は営業不調により利益を低下させる結果となった。

営業利益

- 下期は売上が伸びない中、売上総利益で販売管理費を吸収できず営業利益も低調な結果となった。

サービス別売上内訳

製品サービスは増加、コンサルティングサービスとプロフェッショナルサービスが減少

		(単位：百万円)		増減率	FY2024 4 Q	FY2025 4 Q	増減率	FY2024 通期	FY2025 通期	増減率
		FY2024 4 Q	FY2025 4 Q							
連結合計		1,864	1,702	△8.7%	7,968	7,728	△3.0%			
プロダクトサービス		1,107	979	△11.6%	4,635	4,809	+3.8%			
製品サービス	ライセンス	73	41	△43.0%	312	859	+174.7%			
	サブスクリプション (LaKeel製品)	312	382	+22.6%	1,183	1,437	+21.5%			
	サブスクリプション (LaKeel製品以	26	25	△4.0%	117	99	△14.9%			
	その他	22	24	+9.2%	117	117	+0.2%			
コンサルティングサービス		673	505	△25.0%	2,904	2,295	△21.0%			
プロフェッショナルサービス		756	723	△4.4%	3,333	2,918	△12.4%			
フロービジネスレベニュー		54	108	+97.8%	306	468	+52.6%			
リカーリングレベニュー		701	614	△12.4%	3,026	2,450	△19.0%			

プロダクトサービス

- ライセンス販売は、下期は低調となったが、特にLaKeel HRの引き合いは継続して強い状態。
- LaKeel製品のサブスクリプション売上は20%以上の成長を継続しており堅調さを維持している。
- コンサルティングサービスは、新規案件の受注不足や継続案件の細切れなどにより大きく減収となった。

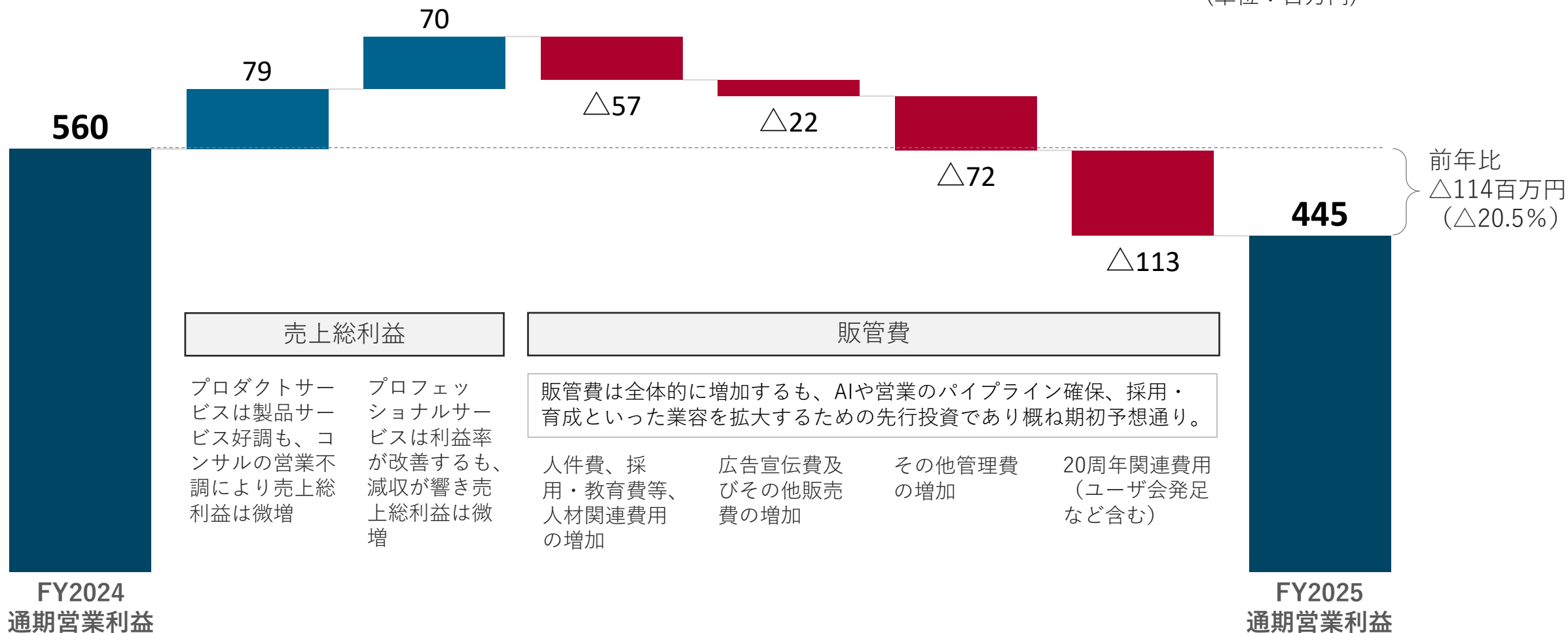
プロフェッショナルサービス

- プロフェッショナルサービスは、顧客企業の基幹システムの入れ替えなどもあり、リカーリングが大きく減収となったが、今後は新規となるフロービジネスの受注に注力する。

営業利益の増減分析

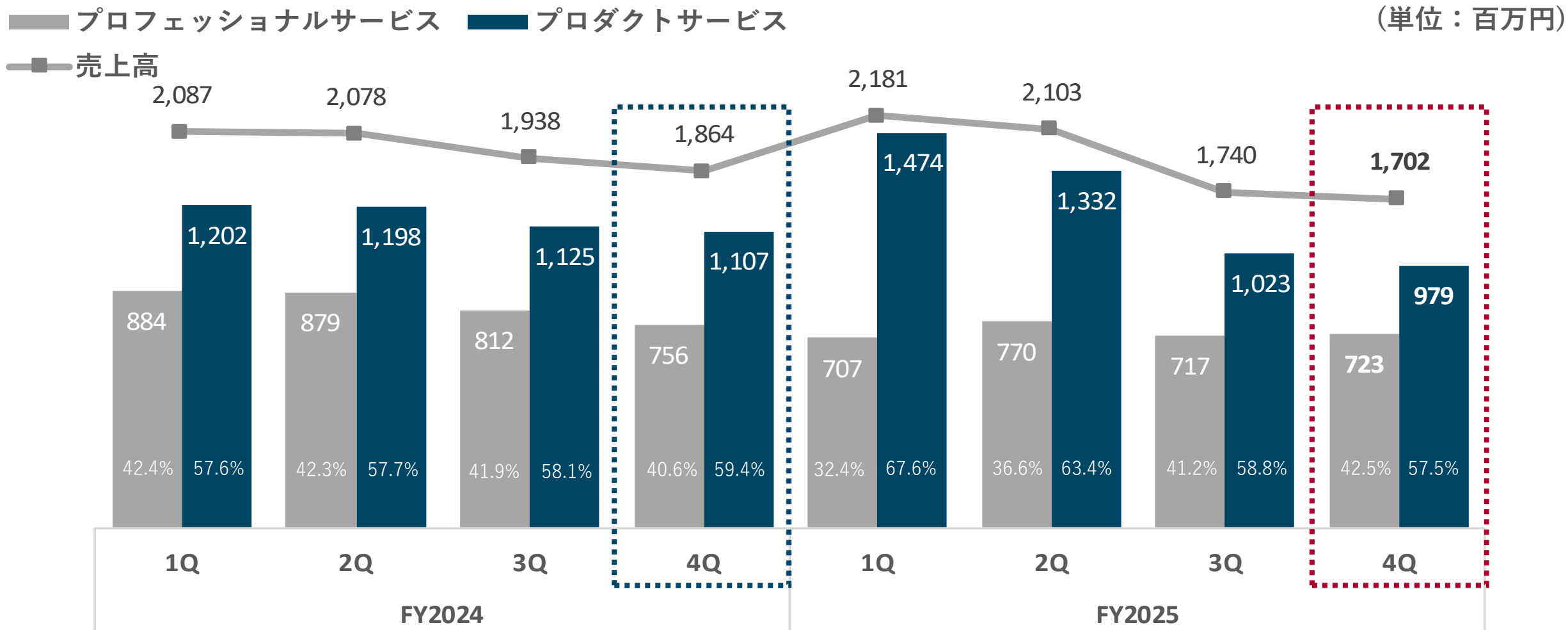
売上総利益で販管費を吸収できず営業利益は減益

(単位：百万円)



サービス別売上比率推移

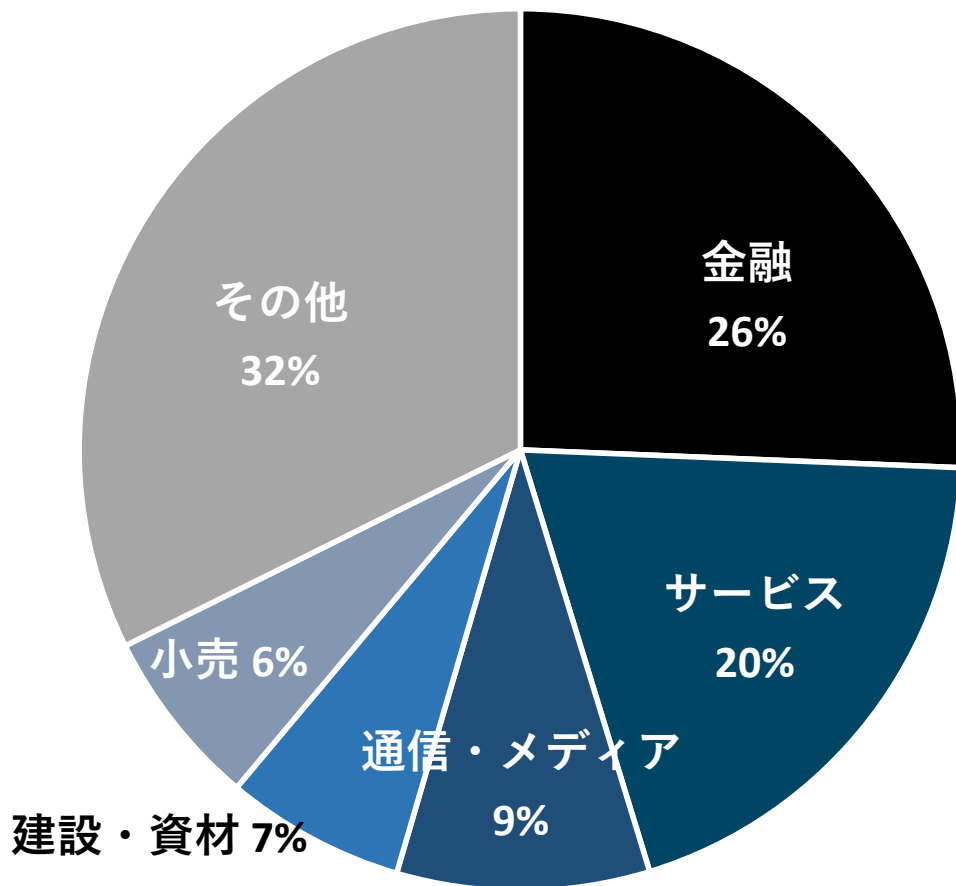
プロダクトサービス売上およびプロフェッショナルサービス売上は共に減少



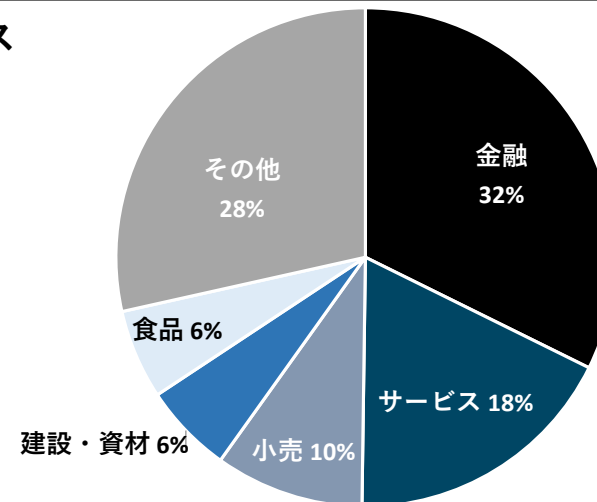
顧客業種別売上状況

金融・サービスが売上全体の45%程度

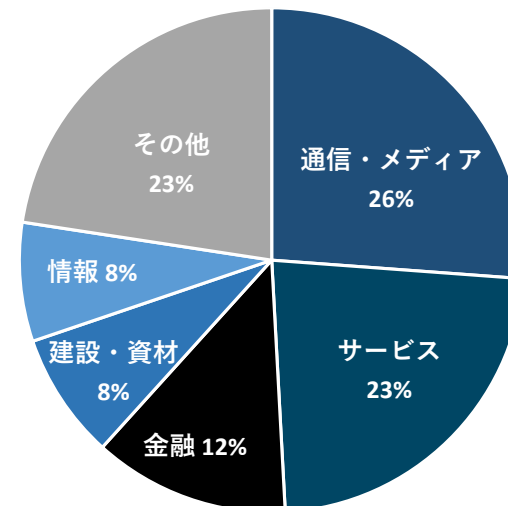
■ 全体



■ プロダクトサービス



■ プロフェッショナルサービス

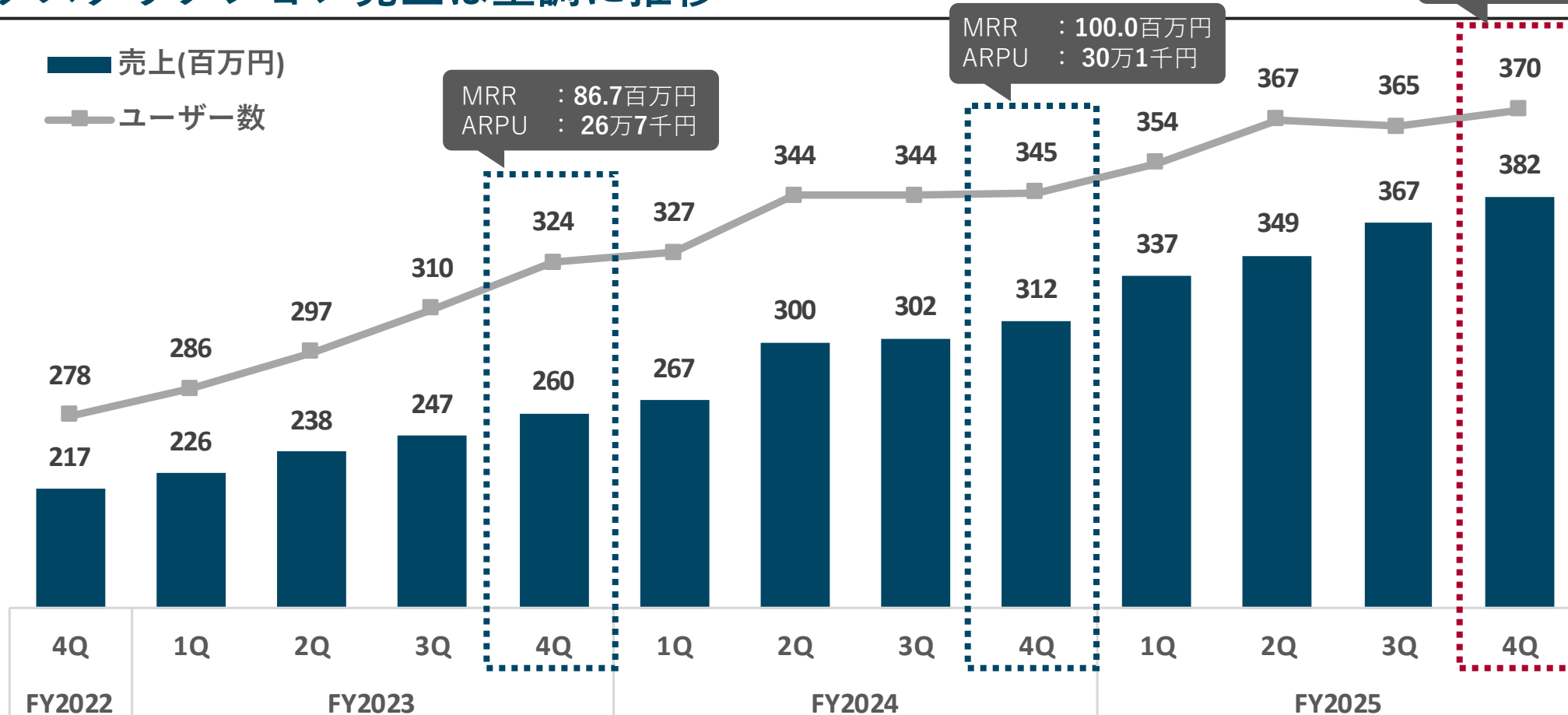


※ 直近12ヶ月、ラキール単体での売上実績に基づく

LaKeel製品※1サブスクリプション売上※2・ユーザー数の推移

サブスクリプション売上は堅調に推移

MRR : 127.5百万円
ARPU : 34万4千円



※1 LaKeel製品には、DX、BI、HR、Workflow、Commerce、OnlineMediaService、Data Insight、Messenger、My Number、Stress Check、Process Manager、eDocumentが含まれる。 ※2 売上は四半期の合計、ユーザー数は各四半期末時点での数値。 ※3 MRR(月間経常収益)は各四半期売上を3で除して算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出。

貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)	FY2024 期末	FY2025 期末	増減率 (対前年期末)
流動資産	3,492	3,551	+1.7%
現預金	2,547	2,345	△7.9%
固定資産	2,508	2,512	+0.2%
のれん	367	332	△9.5%
総資産	6,000	6,097	+1.6%
流動負債	2,047	2,070	+1.1%
固定負債	359	256	△28.7%
純資産	3,593	3,770	+4.9%
自己資本	3,573	3,750	+5.0%
(自己資本比率)	59.6%	61.5%	+1.9P
非支配株主持分	19	20	+5.3%

財務

- 現預金は23.4億円、前期末比で約2億円減少
- 有利子負債は9.0億円（流動7.0億円、固定2億円）
- 自己資本比率は、61.5%

のれんの計上、償却

- 2017年11月のMBOと2018年12月の子会社取得に伴い当初約6億円を計上、期末時点の残価は3.3億円
- 効果の及ぶ期間(12年～20年)を見積り償却中

自己株式

- 自己株式の期末残高は、△7.3億円（700,723株、発行済み株式総数の9.1%）

3. 2026年12月期業績予想

2026年12月期 業績予想

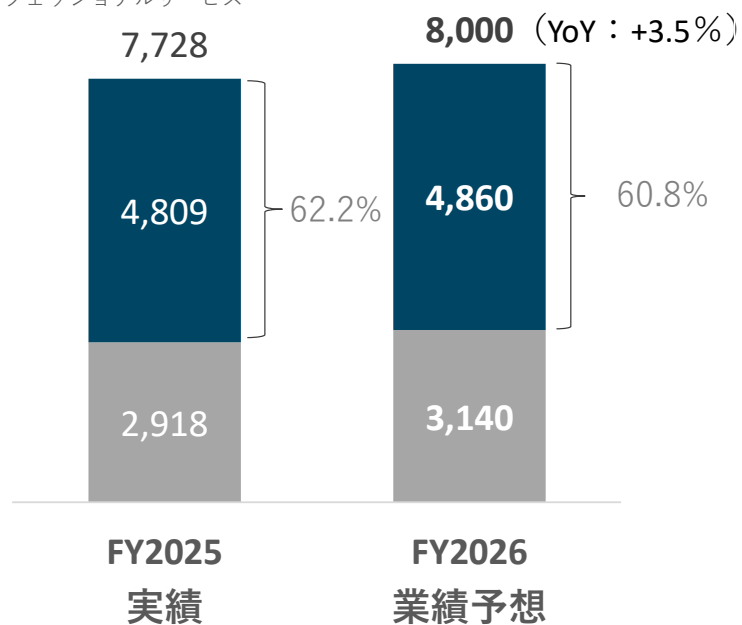
積極的なAI投資で次の成長ステージへ

2026年を「仕込みの年」と位置づけ、積極的なAI投資（研究開発や製品開発、人材育成）を実施する。特にHR領域におけるAIエージェント化及びシステム開発領域におけるAIプラットフォームの適用を最重要戦略として推進する。中長期的な価値創造に向けた体制強化を進め、2027年以降の成長基盤構築を優先する。

売上高（百万円）

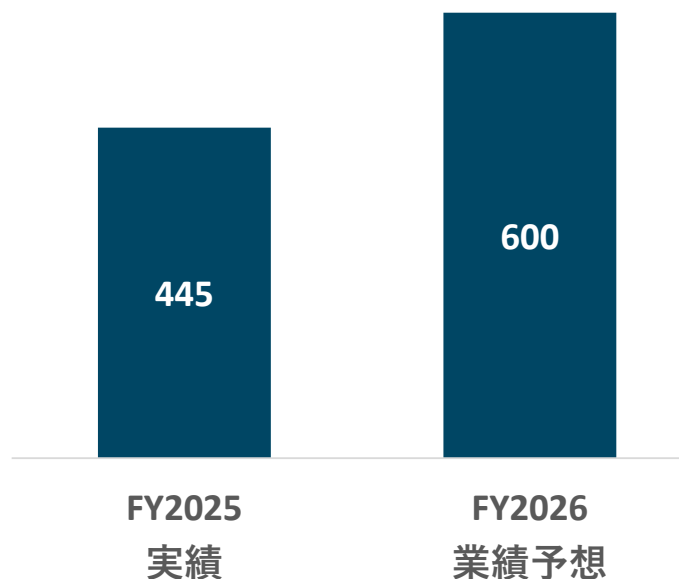
売上高は微増（横ばい）

- プロダクトサービス
- プロフェッショナルサービス

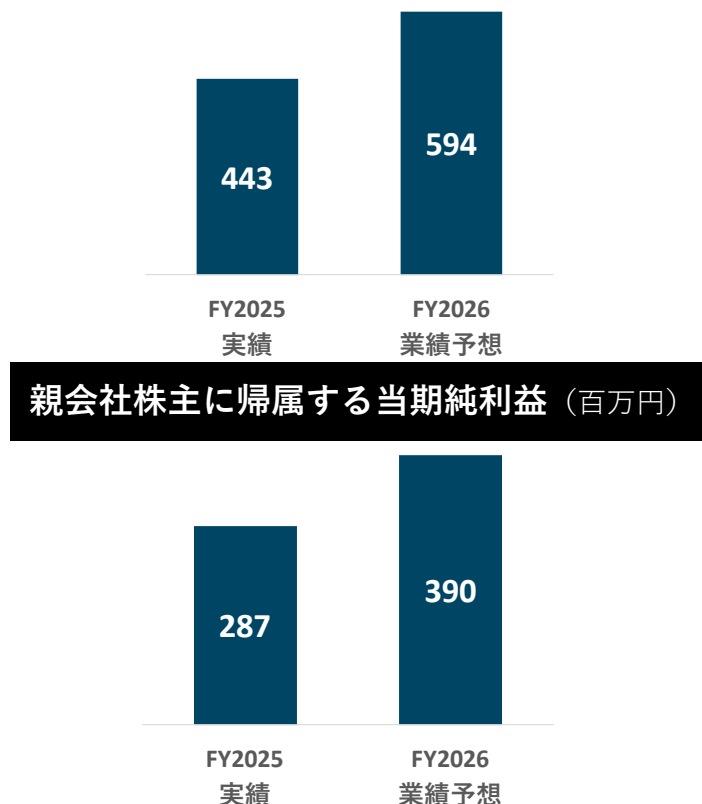


営業利益（百万円）

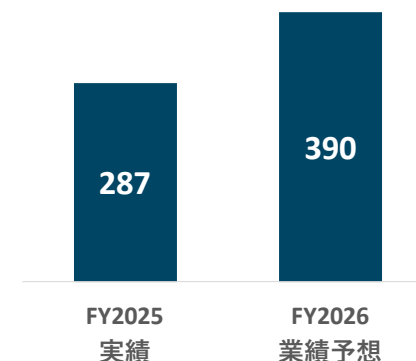
AI投資をふまえた利益計画
継続的な成長投資による一時的な収益性低下



経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



その他トピックス：自己株式の取得

目的

直近の株価水準等を勘案し、経営環境の変化に対応した自己株式を利用する機動的な資本政策、株主への利益還元及び資本効率の向上を実現するため。

概要

取得する株式の総額 : 280,000,000円 (上限)

取得する株式の総数 : 200,000株 (上限)
(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合2.89%)

取得期間 : 2026年2月16日～2026年8月31日

取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

4. 事業の特色と成長戦略

ビジョンと事業内容

デジタルネイティブカンパニー ～明日の日常を創り出す～



“デジタルとビジネスのより良い関係を創り出す”

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する
2つのサービス

プロダクトサービス

DX関連サービス

- LaKeel DX/Apps
 - ・ LaKeel DX：クラウドアプリケーションの開発・運用基盤
 - ・ LaKeel Apps：LaKeel DX上で稼働する製品群
- コンサルティングサービス
 - ・ LaKeel DXと機能部品群を最大限に活用する**コンサルティング**
 - ・ LaKeel DX上に収集された膨大なデータの**分析サービス**

プロフェッショナルサービス

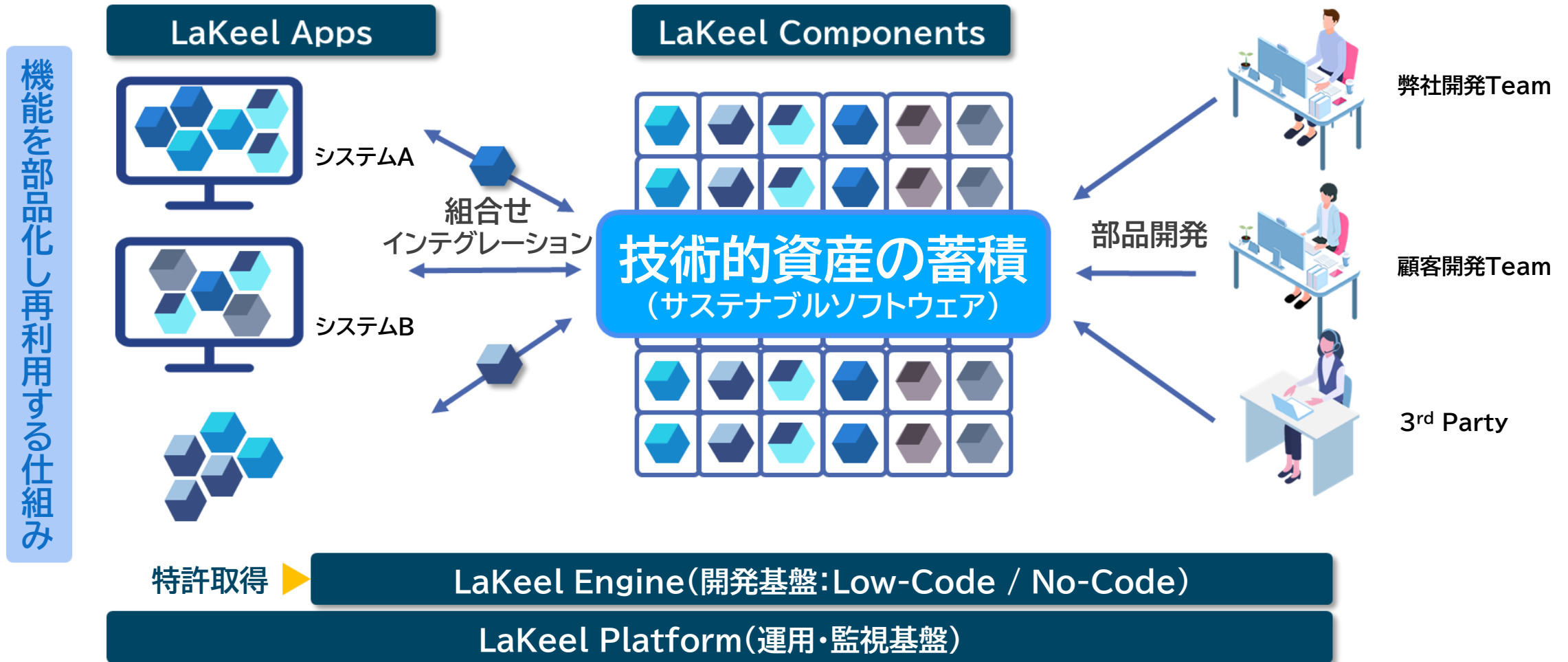
システム関連サービス

- システム開発サービス
 - ・ レガシーマイグレーション、クラウドマイグレーション
 - ・ スクラッチ開発
- システム保守サービス

サステナブルソフトウェアの提供

陳腐化せず、成長・変化し続ける技術的資産

※ LaKeel DX機能レイヤ



LaKeel Apps (製品群)

企業を支える14種類の LaKeel Apps

BI (Business Intelligence) ツール



AI

経営・会計・人事などの多くのデータを集約・加工し、これを判り易く可視化し、経営戦略のための意思決定を行う製品。




データ分析・統合管理プラットフォーム



AI

クラウド技術を利用し超大規模のビッグデータアナリティクスに対応する他、マイクロサービス技術により可視化や分析の先にある行動に繋げる事が可能。



戦略人事実行支援プラットフォーム



AI


人事戦略の実行支援がコンセプトの人事基幹業務システム。タレントデータやピープルデータなどの幅広いデータ管理、業務の属人化を防止する業務プロセス管理、分析に加え次のアクションの自動化などの特徴的な機能を提供。



マイクロ・ラーニングプラットフォーム




提供するコンテンツの分野は、労働・安全・食品・ハラスメント等。また、多言語 (英語・中国語(簡体字)・ベトナム語・ネパール語・ミャンマー語・ポルトガル語(ブラジル)) にも対応。




AI

ビジネスチャットツール




AI

業務プロセス管理




AI

アンケート収集管理




AI

企業向けストレスチェックツール




AI

高性能ワークフローシステム




AI

電子帳簿サービス




AI

生成AIチャットシステム




AI

大企業向けID管理基盤



AI

マイナンバー管理ツール



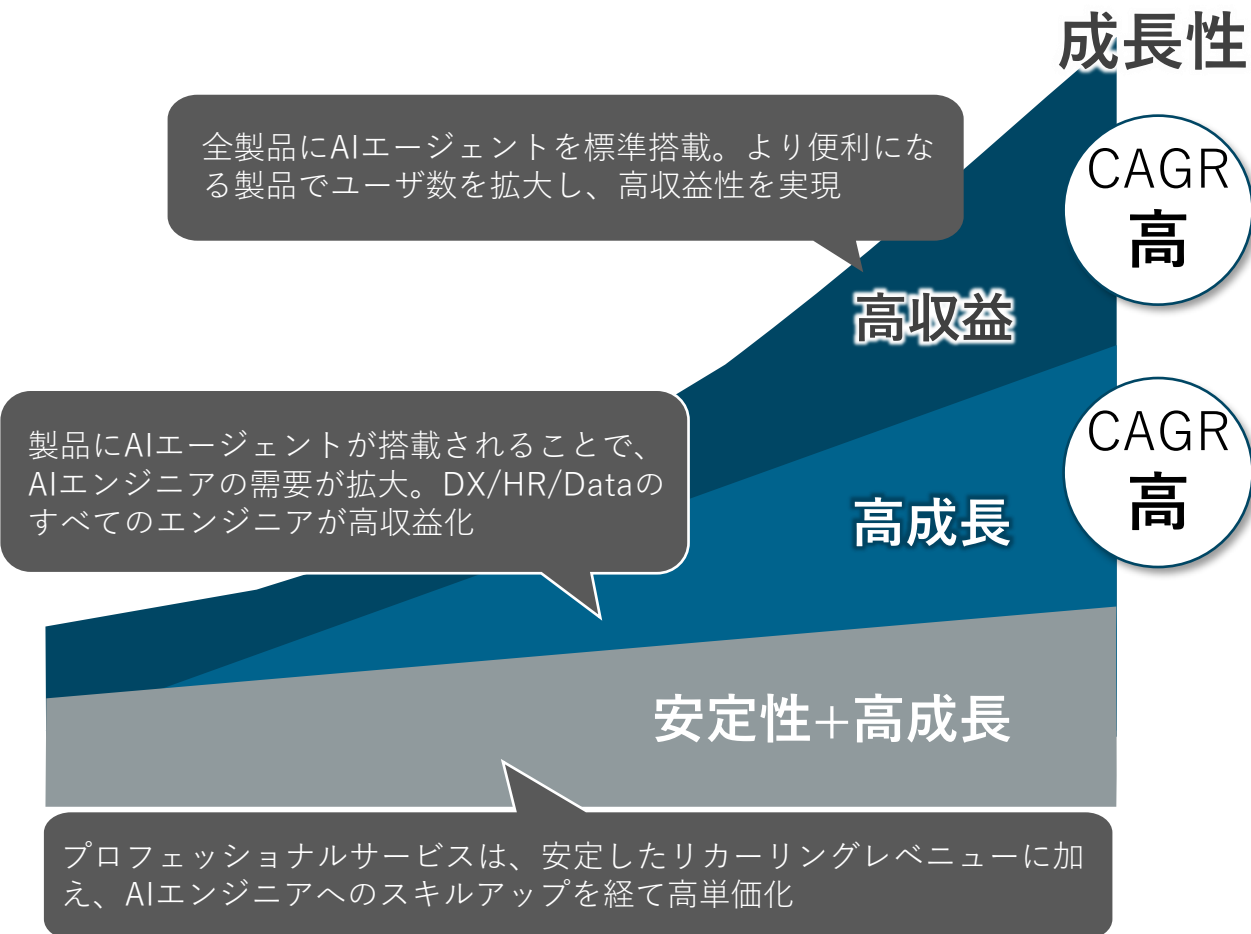
AI

eコマースプラットフォーム

成長戦略：サービスポートフォリオ

AI投資を次の成長ステージへのカタリストへ

主力製品にAIエージェントを標準搭載、AIエンジニアによる高収益化



■ 製品サービス + AI

- 高い収益性と継続性を重視した収益モデル
- LaKeel DXのAI Platform化及びLaKeel HRを中心に全製品へAIエージェントを標準搭載

ライセンス型/サブスクリプション型

■ コンサルティングサービス + AI

- 高度な技術力により高い成長性を重視した収益モデル

フロー型

■ プロフェッショナルサービス + AI

- 安定性と継続性を重視した収益モデル
- AIエンジニアへのスキルアップにより安定性+高成長へ

フロー型/リカーリング型

成長戦略：DX市場規模

DX 国内市場 (2030年予測)

6兆5,195億円

2兆7,277億円

2022年度

2030年度

出所) 株式会社富士キメラ総研
「2023 デジタルトランスフォーメーション
市場の将来展望 市場編」

DX当社ターゲット (2030年予測)

7,605億円

3,548億円

2023年度

2030年度

出所) DX国内市場の成長に合わせ、
CAGR11.5%として当社でグラフ化

DX 世界市場 (2030年予測)

3兆1,449億米ドル

471兆7,350億円 (¥150/\$換算)

出所) 株式会社グローバルインフォメーション
「デジタルトランスフォーメーションの世界市場(～2030年):
提供区分(ソリューション・サービス)・技術(クラウドコンピューティング・ビッグデータ&アナリティクス・ブロックチェーン・サイバーセキュリティ・AI)・ビジネス機能(会計&財務・IT・人事)・産業・地域別」

既存取引先データ

既存取引先社数：340社 当社2023年実績より

売上：112兆6,439億円
上場企業：開示資料
非上場企業：(株)帝国データバンク、(株)東京商工リサーチより

IT投資予算：2兆3,655億円 「企業IT動向調査報告書2023」
(売上の2.1%) JUAS ((社)日本情報システム
ユーザー協会)より

DX投資予算：3,548億円 当社見込み
(IT投資の15%)



成長戦略：ラキールが目指す姿



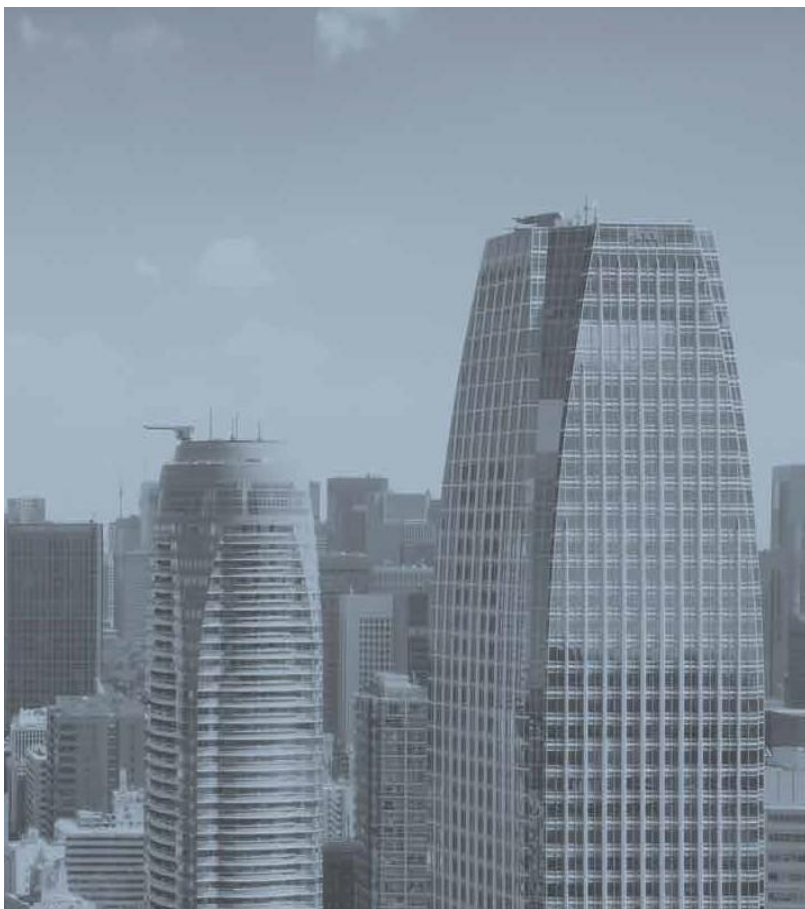
ラキールは高い技術力とビジネスへの洞察力を基にしたDXソリューションを積極的に展開します。

顧客企業のデジタルビジネスプラットフォームとしてLaKeel DX(Application PaaS)を広く採用いただくことで、ソフトウェア部品を企業間で流通させ利益を生み出す「LaKeel DXエコノミー」を構築し、ソフトウェア部品産業という新たな市場を創出します。

ラキールは、アプリケーションのプラットフォームマーとして、これまでのITの在り方にパラダイムを起こし、パーパスとして掲げる『明日の日常を創り出す』を実現してまいります。

5. Appendix

会社概要



会社名	株式会社ラキール (LaKeel, Inc.)
会社創立日	2005年6月10日
資本金	1,016百万円 (2025年12月31日現在)
本社所在地	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー33階
代表取締役社長	久保 努
事業内容	企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する プロダクトサービスとプロフェッショナルサービスを提供
社員数	490名 (連結 2025年12月31日現在)
当社グループ	Legend Applications China Holding, Inc. 北京利衆得応用技術有限公司 株式会社ZEST
上場市場	東証グロース市場
業種別分類	情報・通信業
証券コード	4074 (ISIN JP3967020003)

沿革

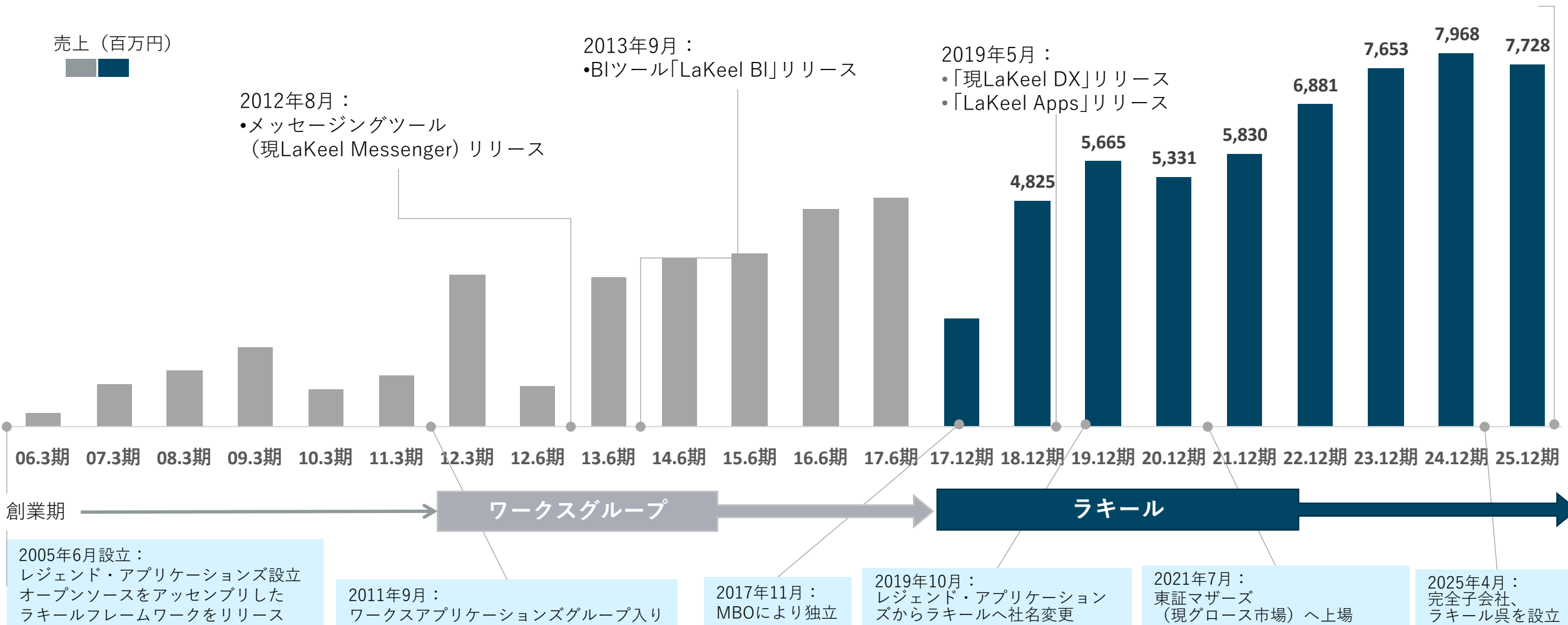
売上 (百万円)



2012年8月：
•メッセージングツール
(現LaKeel Messenger) リリース

2013年9月：
•BIツール「LaKeel BI」リリース

2019年5月：
•「現LaKeel DX」リリース
•「LaKeel Apps」リリース



創業期

ワークスグループ

ラキール

2005年6月設立：
レジェンド・アプリケーションズ設立
オープンソースをアセンブリした
ラキールフレームワークをリリース

2011年9月：
ワークスアプリケーションズグループ入り

2017年11月：
MBOにより独立

2019年10月：
レジェンド・アプリケーションズからラキールへ社名変更

2021年7月：
東証マザーズ
(現グロース市場) へ上場

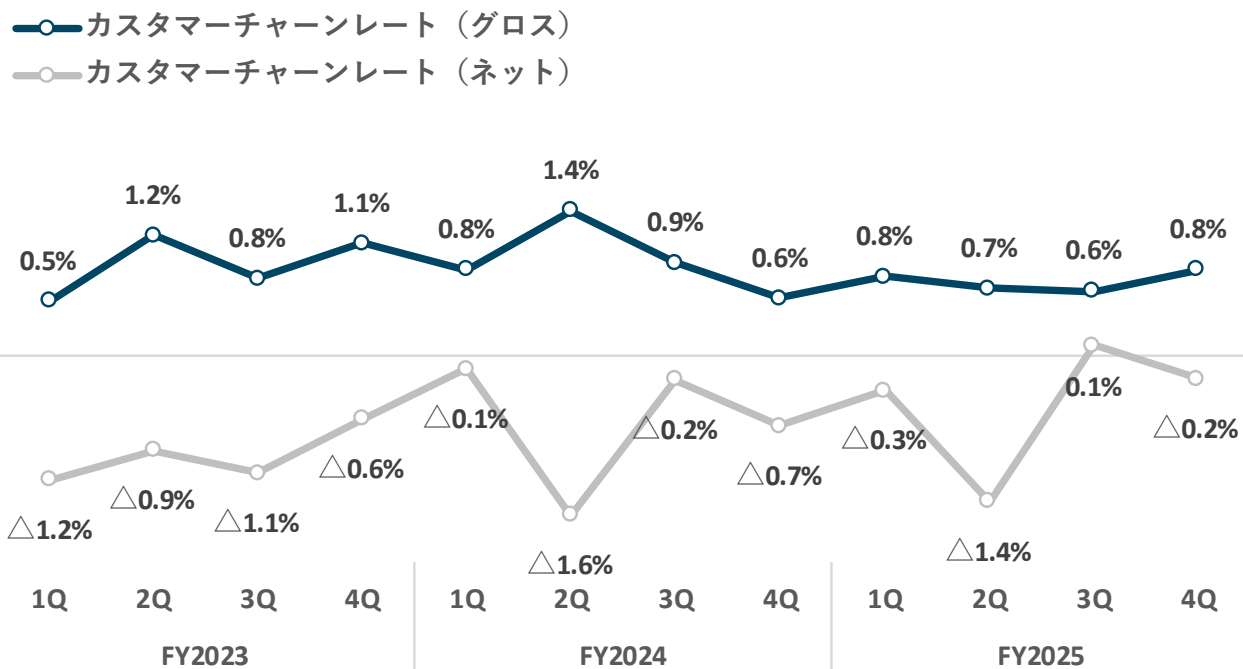
2025年4月：
完全子会社、
ラキール呉を設立

*1 18.12期より連結、それ以前は単体 *2 12.6期は決算期変更で3か月 *3 17.12期は、2017年7月1日から12月31日までの旧(株)レジェンド・アプリケーションズの売上を記載

プロダクトサービス

カスタマーチャーンは低水準を継続。MRRは前年同期比で20%増

■ LaKeel製品の解約率（チャーンレート）



本資料記載の解約率は、以下の方法により算出

- ・ カスタマーチャーンレート（グロス）
「月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均
- ・ カスタマーチャーンレート（ネット）
「（月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 - 月中に新規契約したLaKeel製品ユーザー数） ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均

■ LaKeel DX/Apps の販売データ（FY2024→FY2025）

	FY2024	FY2025	増減率
【LaKeel製品】			
サブスク売上(年間)	1,183.0百万円	1,437.6百万円	+21.5%
ユーザー数(期末時)	345	370	+7.2%
MRR(4Q時)	104.0百万円	127.5百万円	+22.6%
ARPU(4Q時)	30.1万円	34.4万円	+14.3%
(内訳)			
【LaKeel DX】			
サブスク売上(年間)	257.3百万円	297.1百万円	+15.5%
ユーザー数(期末時)	13	15	+15.4%
MRR(4Q時)	22.2百万円	25.7百万円	+15.8%
ARPU(4Q時)	170.8万円	171.4万円	+0.4%
【LaKeel Apps】			
サブスク売上(年間)	925.6百万円	1,140.5百万円	+23.2%
ユーザー数(期末時)	332	355	+6.9%
MRR(4Q時)	81.8百万円	101.8百万円	+24.4%
ARPU(4Q時)	24.6万円	28.6万円	+16.3%

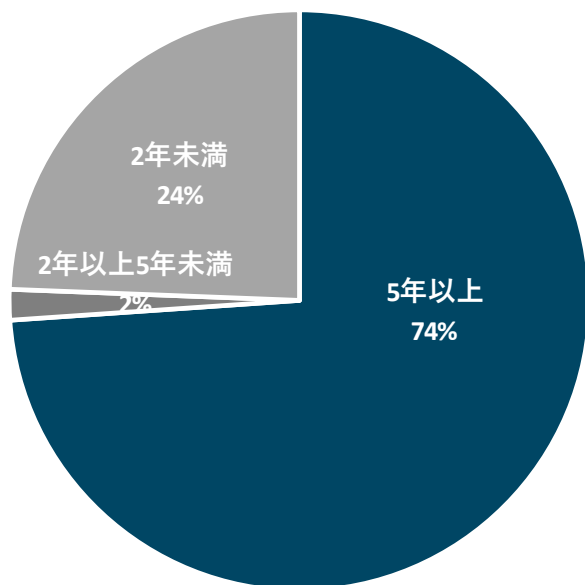
- ・ MRR（月間経常収益）：（四半期のサブスク売上高） ÷ 3
- ・ ARPU（ユーザー平均単価）：MRR ÷（各四半期末のユーザー数）

プロフェッショナルサービス

安定収益を生み出す顧客基盤

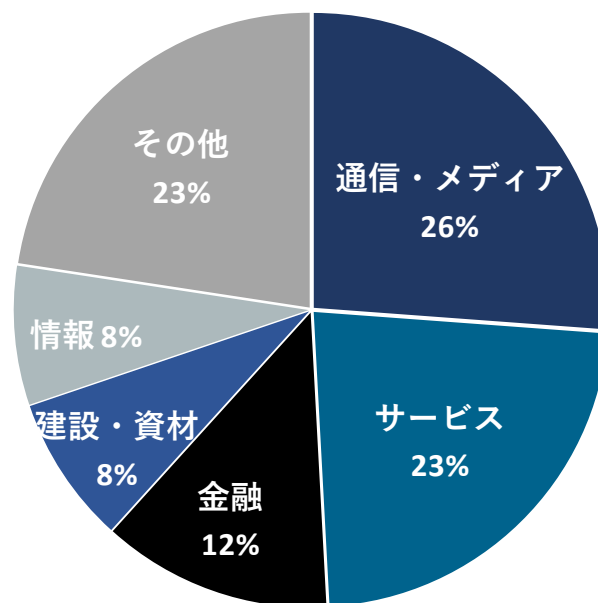
- 創業当時から取引を継続している大手企業を中心にビジネスを展開
- 幅広い業種で200社超の取引実績を有しており、最近は通信・メディアとの取引が堅調
- 年間取引額が1千万円～1億円を越す取引先の売上累計が、全体の95%を占める

－取引期間別－



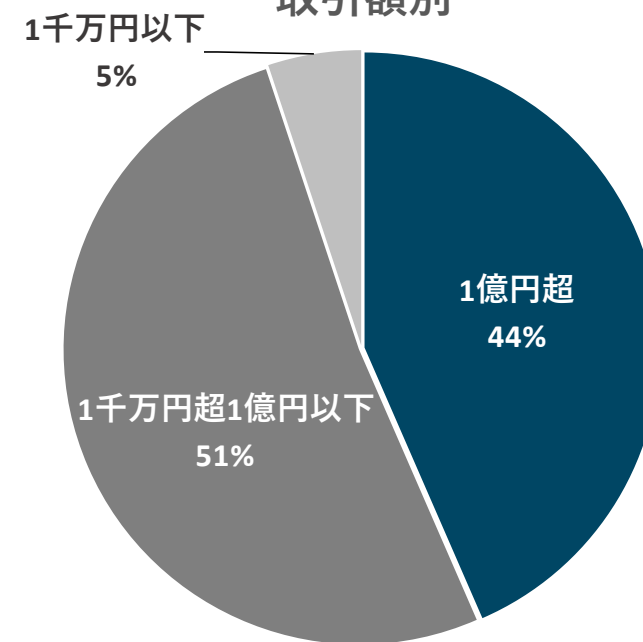
総売上に占める取引期間別割合
(2025年12月期実績)

－顧客業種別－



総売上に占める業種別割合
(2025年12月期実績)

－取引額別－

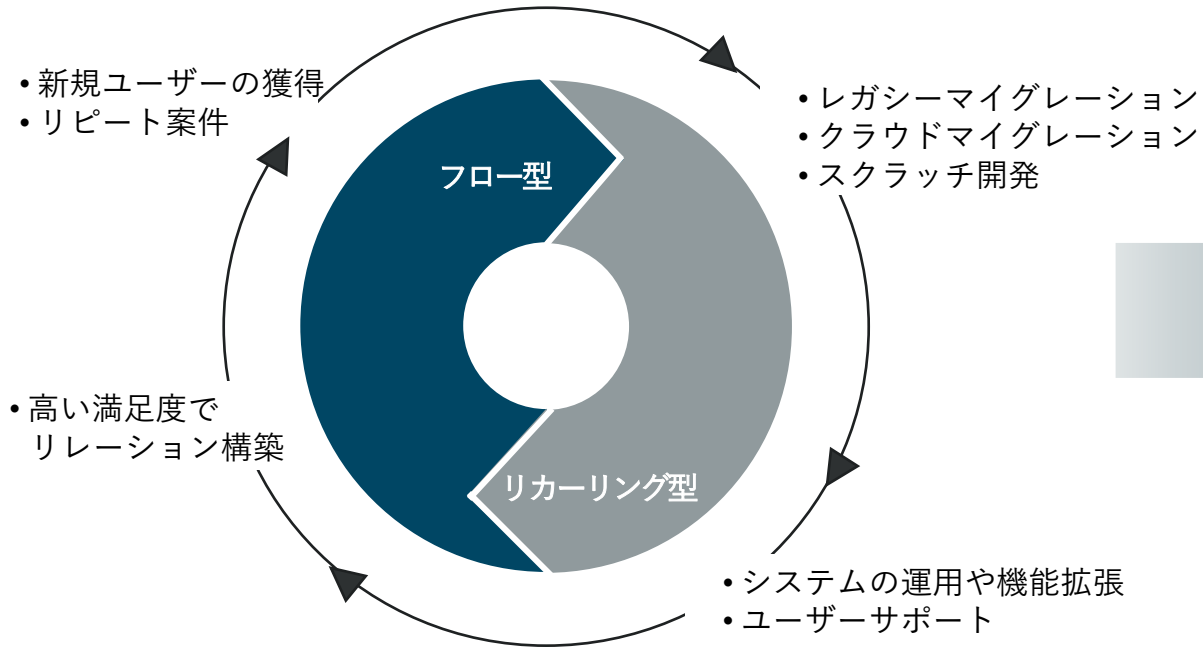


総売上に占める1社当たり年間取引額別割合
(2025年12月期実績)

プロフェッショナルサービス

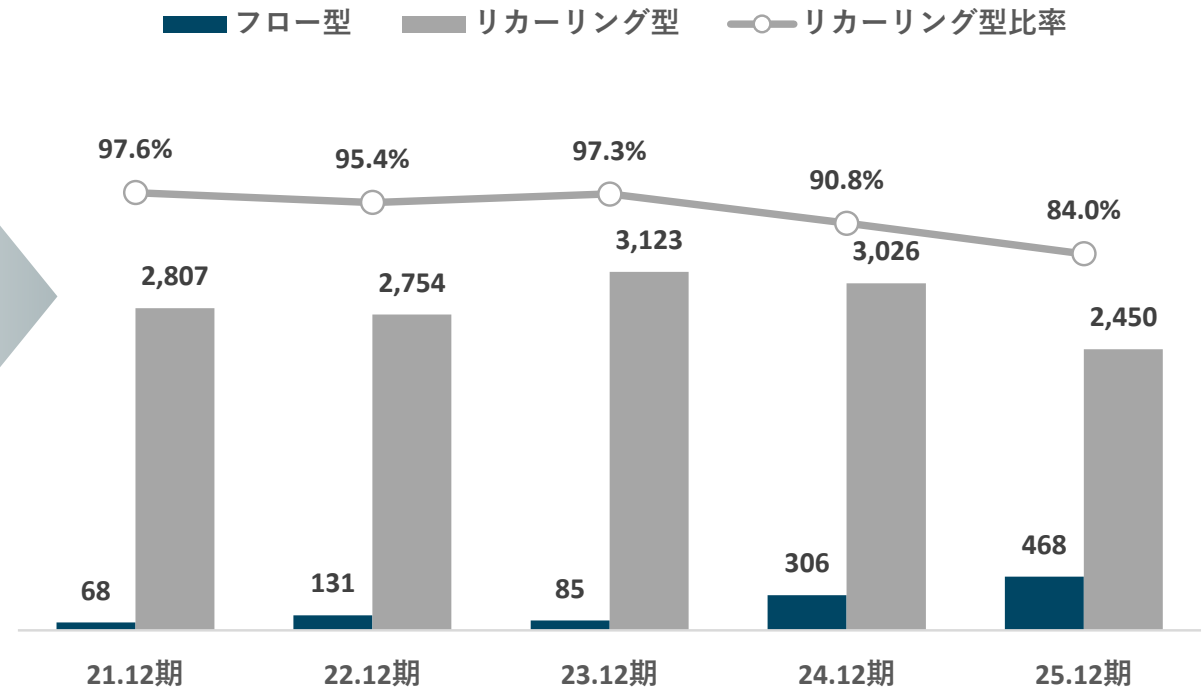
リカーリング売上による安定収益

一高付加価値循環型モデル



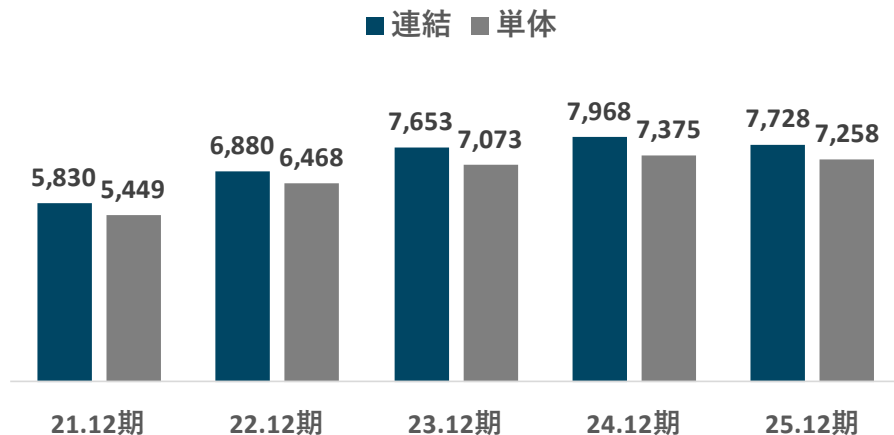
モデル別売上の推移

(単位;百万円)

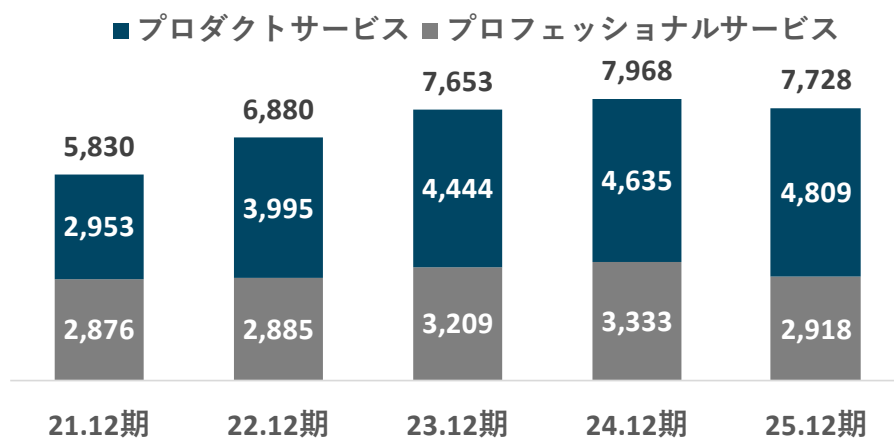


財務データ①

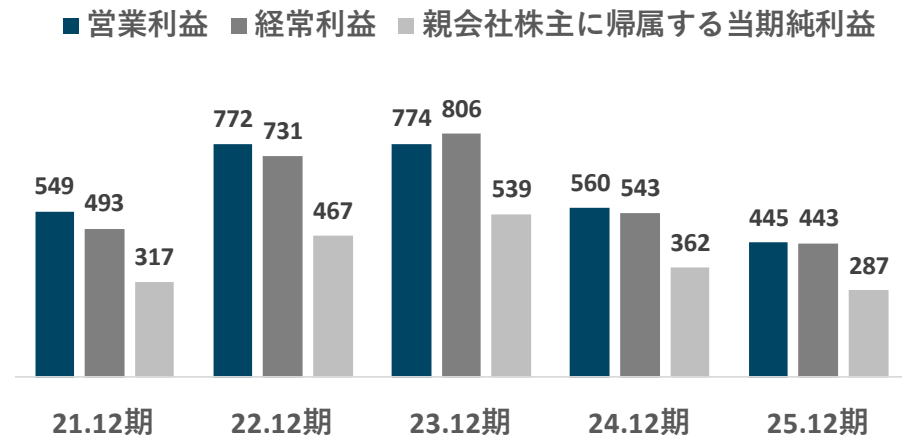
■ 売上 (百万円)



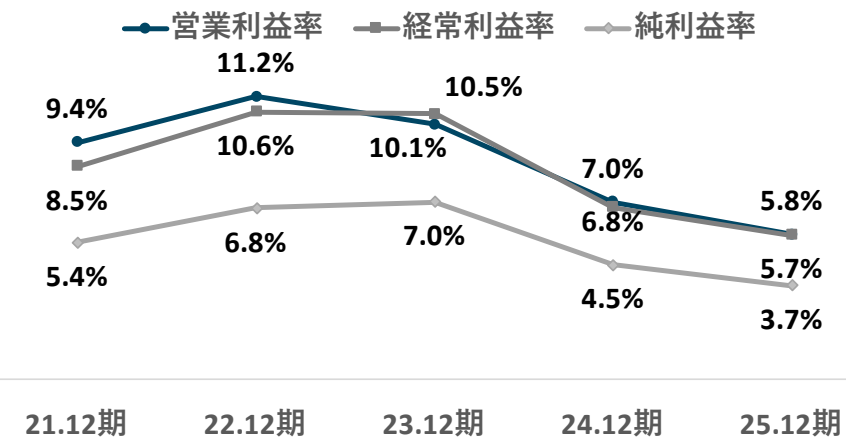
■ サービス別売上 (百万円、連結)



■ 利益 (百万円、連結)

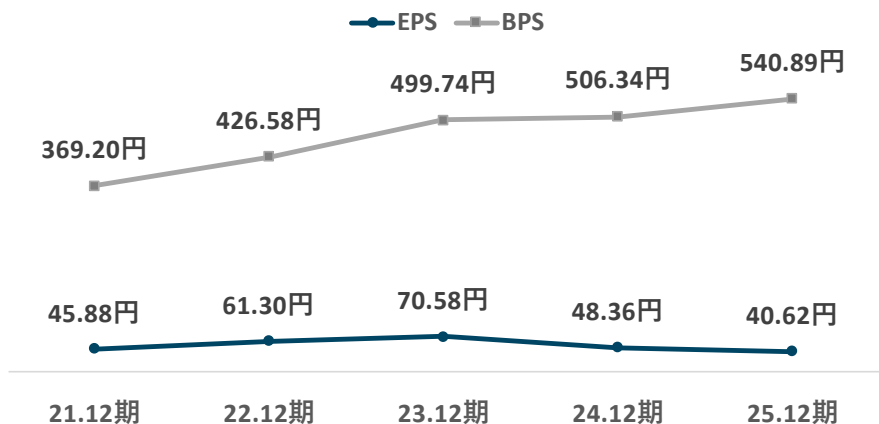


■ 利益率 (%、連結)

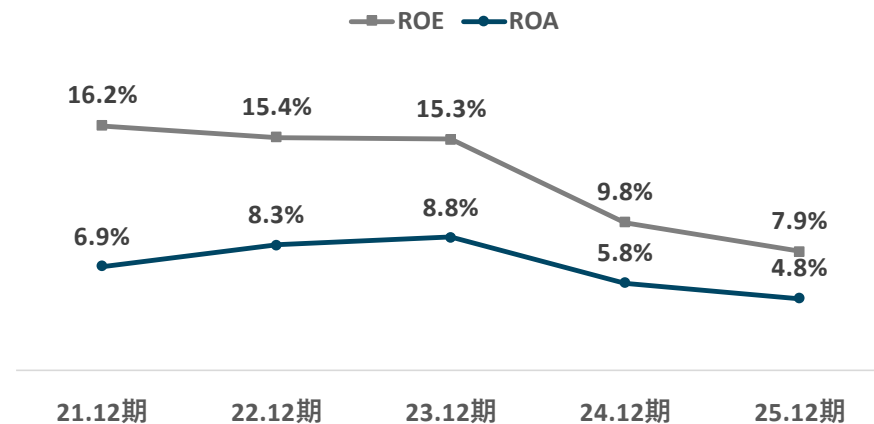


財務データ②

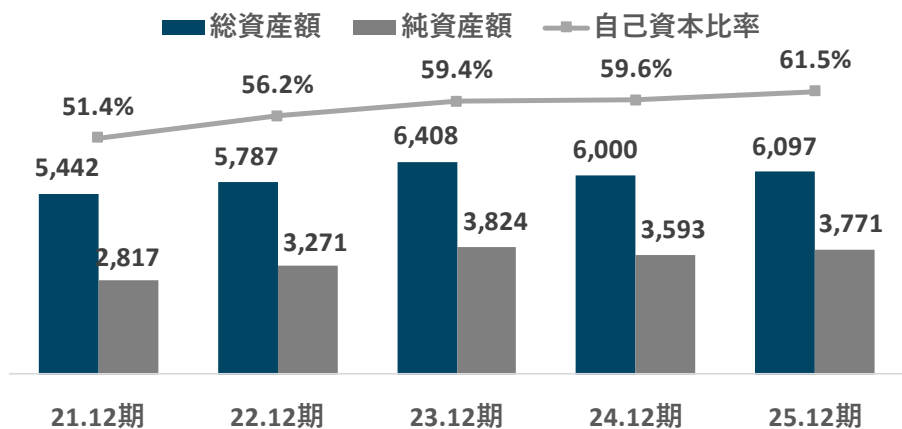
■ BPS・EPS (円)



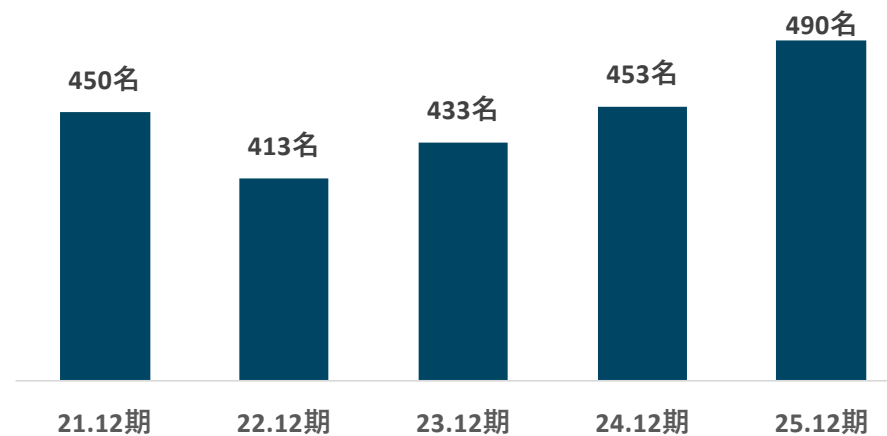
■ ROE・ROA (%)

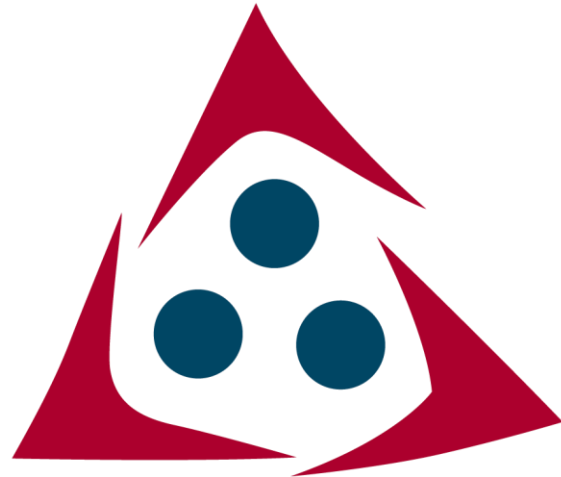


■ 総資産額・純資産額、自己資本比率 (百万円、%)



■ 従業員数 (名)





LaKeel

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

株式会社ラキール

コーポレートサイト

<https://www.lakeel.com>

IR情報

<https://www.lakeel.com/ja/ir.html>

お問合せ

lakeel-ir@lakeel.com